

今、何の病気が流行しているか！

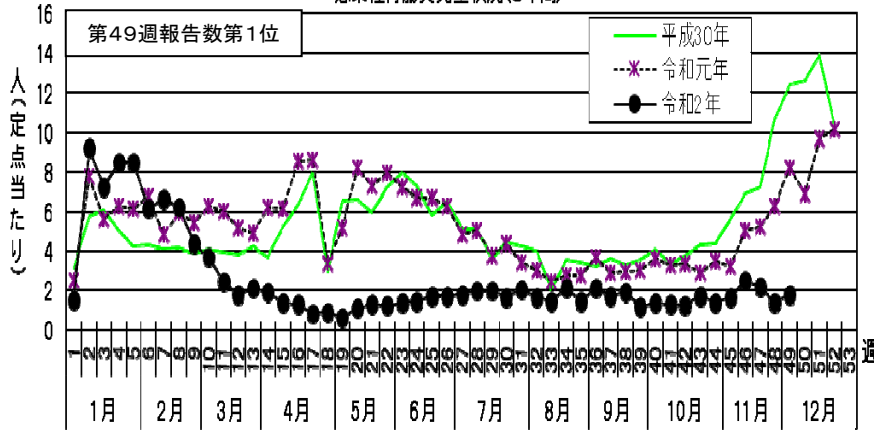
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月30日（月）～令和2年12月6日（日）〔令和2年第49週〕の感染症発生状況

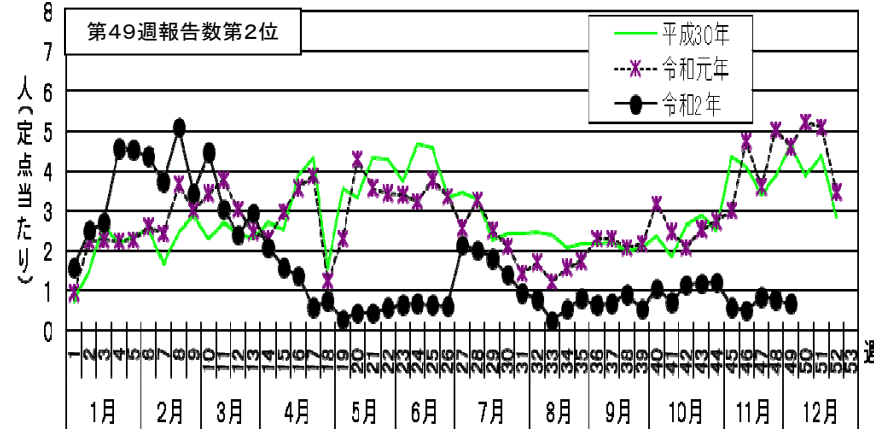
第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.78人と前週（1.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.70人と前週（0.78人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.30人と前週（0.41人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

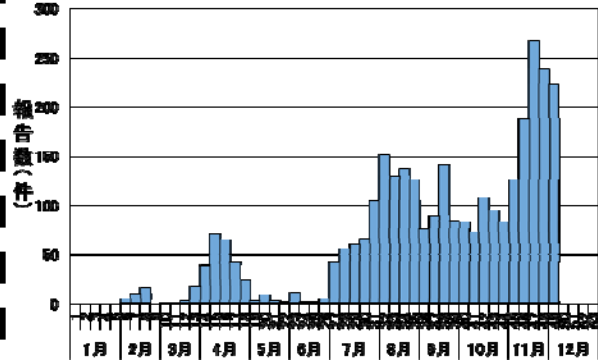


家庭への持ち込みを防ぎましょう！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における令和2年第49週（11月30日～12月6日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は前週からやや減少し、223件となりましたが、3週連続で200件を超えています。クルーズ船関連を除く市内の報告数3,049件のうち、55.4%が男性で、特に20歳代から70歳代では男性に多い傾向がみられました。中でも、20歳代は男女共に報告数が多く、男性は415件、女性は378件にも上りました。これらの世代が職場や会食の場などで感染し、家庭に持ち込むことも多いようです。

大人数での会食や飲酒を伴う集まりなどは控え、大切な家族への感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別男女別報告数(令和2年)

